



鳥取こども学園 学園だより

第 24 号
2008年12月 1 日

○発行
鳥取市立川町 5 丁目 417 番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206

○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

キリスト教社会事業の献身性・先駆性を引き継ぎ 社会的養護制度改革の先頭に立ちたい

「今日タビテの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼いの葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけたであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

鳥取こども学園 園長 藤野興一

メリークリスマス。

第二児童棟（家庭舎）の改築工事が進められています。クリスマスまでの完成を願ってきましたが、一月末の完成予定となり、体育館改修工事の予定もあり、体育館が使えず、今年のクリスマスは各ホーム単位で祝うこととしました。

「家庭舎」は、その愛称の通り一九六一年（昭和三八）年に、大舎制から小舎制に切り替えた第一号の建物で、建設から半世紀にもなろうかといった老朽建物で、建て替えることとしたものです。

＊創立百三年目を迎え、キリスト教社会事業の献身性・先駆性を引き継ぎたい

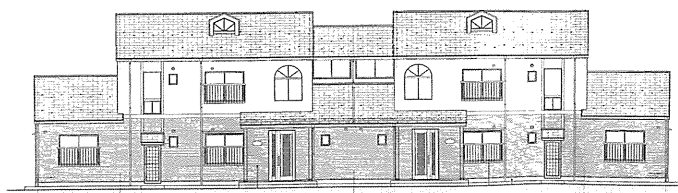
私たちは、職員配置基準が職員一人当たり子ども八人の時代であった半世紀も前の一九六一（昭和三八）年に、小舎制を実現した我が鳥取こども学園の献身性・先駆性を誇りに思い、引き継ぎたいと思います。

今、日本の児童養護施設、乳児院などの社会的養護の再編強化が緊急焦眉な課題となっています。敗戦直後の「保護収容システム」から子どもの権利擁護のための「公的養育システム」への変革が求められ、施

設最低基準をはじめとする前時代的施設環境の改善と非常識ともいえる職員配置の飛躍的な改善、施設の小規模化、ケア単位の縮小が緊急の課題となっている

のです。「子ども一人当たり三・三㎡の居室面積」や「一・六（一日二十四時間）三六五日対応を考慮すれば一・二四」の職員配置に見られる施設最低基準の抜本的改善が必要です。

＊神様の愛と皆様のご支援に感謝します
二〇〇六（平成一八）年に創立百周年記念事業として「親子愛着トレーニングセンター」的役割を持った乳児院」を目指して創設した乳児部も十五名定員三ホーム体制で順調な歩みを続けています。児童養護施設も、乳児院と一緒に建物を建て、四十五名定員で七ホーム（一時保護ホームを加えれば八ホーム）体制を創り、一ホーム子ども六～七人に三人の職員配置を実現しました。情緒障害児短期治療施設



「家庭舎」完成図

も入所定員三十名で四ホームに各三・五人の職員を配置し、入所部門三施設で十五ホーム体制を組織して順調な歩みを遂げています。四月から新しく加わった「若者サポートステーション」、「地域生活支援事業ひだまり」もまずまずのスタートを切っています。保育所、児童家庭支援センター、自立援助ホーム鳥取フレンド・倉吉スマイルも健在です。神様の愛と皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

＊社会的養護制度改革の先頭に立ちたい
少子化対策の基本は、生まれてくる数少ない子どもたちを健全に育て上げることから始まります。今、児童養護施設をはじめとする施設入所児童を健全な社会人として社会に送り出さねば、次の世代に児童問題の拡大再生産を生み、日本の未来を危うくすることとなります。

私たちは、今国会で成立した児童福祉法の四月施行に続き、一層の社会的養護制度改革の推進を求めます。

来年は、各都道府県、市区町村の次世代育成計画見直しの年に当たります。各地で「要保護児童」への具体的取り組みを明示すべく、全力で取り組みます。

日本の未来である子どもたちのために今、施設入所児童への具体的施策が是非とも必要なのです。

ご支援ください。

法人本部

第二児童棟(家庭館)の老朽改築は一月末完成予定。感謝です。

・工事概要

本造二階建て新築工事三八四・三八㎡
(二階三七・九㎡、二階二五・四六㎡)
旧建物解体工事 二四二・四六㎡
・経過(平成20年)

7月14日 入札実施、(株)興洋工務店が八一・五八〇、八〇〇円(税込)で落札
7月31日 独立行政法人福祉医療機構が借入申込書を受理

8月1日 工事請負契約締結、着工
8月23日 橋原牧師司式により起工式(平成21年) 1月30日 竣工予定

・収支予算

(収入の部)

鳥取県補助金 五八、八二四、〇〇〇円
(鳥取市補助金 九、八〇四、〇〇〇円)
福祉医療機構借入 二二、〇〇〇、〇〇〇円

寄付金

自己資金

収入合計

(鳥取市補助金は、借入金返済時点で補助)(支出の部)

施設整備費 八一、五八〇、八〇〇円
設計監理費 四、〇九五、〇〇〇円
備品費 一、六八〇、〇〇〇円

支出合計

福祉医療機構の手続きが遅れ(民間給与改善費で返済するよう)に言われたが、

当園の場合民改費は人件費に殆ど使っており、寄付金で返済するしかなく、「返済能力がない」と言われ、調整が必要だった、工事着工が遅れた。

体育館改修・図書室兼学習室他増築工事に着手(今年度末完成予定)

一(財)中央競馬馬主社会福祉財団補助金(五、四九〇、〇〇〇円)、エキスパートグループ社会貢献室寄付金(備品費二五二九、四五〇円)及び財団法人SBI寄付金(二、二四七、〇〇〇円)により計画。心より感謝申し上げます。

創立百周年の時、乳児院、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設の管理サービス部門を一所にまとめましたが、旧食堂兼図書室が狭くなり、通路となるために、子どもたちの学習会や話し合いの場所が無くなっていました。

また、相次ぐ建設工事と人件費負担の無理が続く中、幼児さんが増えたこともあり、昼間保育所増築・図書館兼学習室の増築を計画しました。

しかし、最近の耐震化対策強化による建築基準法改正等により、当初計画から大幅に予算が膨らみ、新たに一千万円の寄付金が必要です。後援会・寄付金募集への一層のご協力をお願いします。

鳥取県養護施設協議会から施設出身者のための「地域生活支援事業・ひだまり」の委託を受け、事業開始。

去る十月十二日、鳥取県福祉保健部長をはじめ八十名に上る施設出身者、施設関係者の出席を得て開所式を行いました。

児童養護施設

鳥取こども学園

食育への取り組み

主任栄養士 松村 栄子

「学園を出ていちばん困ったことって何？」と訊くと、「食べること」と返事が返ってきたOB、OGがいました。学園にいた時には当たり前のように食事ができ、偏食もあつた子どもたちが、学園を出て自活した時に改めて食べることの大切さ、大変さを実感するようです。

「食育」と言う言葉を耳にするようになり、どんなことをすれば食育なんだろうと考えさせられましたが、食の大切さ、食への感謝の気持ちを持つことなど身近にできることから子どもたちに伝えていかなければと思っています。

食育保健委員会で各ホームでの食事作りを呼びかけていますが、ホームによってはなかなか実施できていないのが現状です。そこで十月下旬に調理員、栄養士、日勤職員が各ホームに入り、一斉に夕食作りをしました。メニューは子どもたちの大好きなチーズ入り煮込みハンバーグ、タコのサラダ、コンスープ、パフエの四品。平日とあって、手伝う子ども

は少数でしたが、楽しい夕食作りになったようです。

あるホームでは、小学生の男の子が手伝いに来てくれる調理員を厨房まで迎えに行こうと、サツサと宿題を片付け、いざ迎えに行ったらもう既に幼児さんに先を越されていてガッカリ…。

また、あるホームでは、中学生の女の子が耳にハンディのある調理員さんに手話で一生懸命コミュニケーションをとろうと頑張っていたりと、普段カウンター越しにしか関わることのない職員との触れ合いもあり、各ホームで様々なエピソードが生まれました。子どもたちにも良い機会になったのではないかと思います。

そして、どのホームもこの日の夕食は残菜がゼロだったことは言うまでもありません。普段あまり食に関心がない子どもでも、「あれ？今日の食事はいつもとは違うなあ…」と、少しでも興味・関心を示してくれたら、食育への第一歩だと思えます。

様々な事情で入所している子どもたちですが、食を通して心豊かに成長してくれることを願っています。



乳 児 院

鳥取こども学園乳児部

出会いを大切に

家庭支援専門相談員 竹 本 智 恵

乳児部も十月で開設二年を迎えました。私は、昨年の四月に家庭支援専門相談員として乳児部に配属になりました。施設は、子育てをお手伝いする場として、保護者の方と共に子どもの育ちを支援していくという姿勢で臨む事に努めています。この間に、沢山の子ども達や保護者の方と出会ってきました。皆、縁あってお互いが関わり合っているのだと思うとその関係を大切にしようという思いにさせられます。

保護者の方は、それぞれに様々な事情を抱えながら子どもとの面会や自らの相談に来院されます。そんな中で、これまでの苦労をねぎらい少しでも安堵感を贈れるように一人ひとりの方と丁寧に向き合い、共感し合い、寄り添い、信頼関係を深めていけるように心掛けています。そして、日々の何気ない会話の積み重ねにより、私自身も経験を重ねていけたらと思っています。

また、今後より専門性を高めていけるように、多方面の学習を取り入れながら、意識的に取り組んでいきたいと思っています。

最近思うこと

どんぐりホーム長 小 林 有 美 子

乳児院にはさまざまな理由で親のもとでは育つことのできない子どもたちが入所しています。現在は三歳までの子どもたちと生活を共にしています。入所以外にも一時保護、トワイライト、シヨートステイを依頼された時は受け入れる状況を作っています。



赤ちゃんや子どもたちは、日々世話(養育)をしてくれる人がいなければ命に関わってきます。少し前まで親と生活と共にしていたのに、急に養育者や生活の場が変わってしまう事は子どもにとっては不安で不安でたまらないことだと思います。少しでも安心して生活ができるように、大人に守られて大切にされている

んだよ」ということが伝わるように一人一人の子どもに愛情を注いで愛着関係を築いていければと思います。〇歳児の赤ちゃんの泣いて教えるメッセージ(泣くことでは要求がでない)に對して的確に對應できるようにすることで、信頼関係を繋いでいけるように努力していきたいです。また、保育者と一緒に入浴して肌と肌のふれあいを大切にしたり、夜中に人恋しくて起きた子どもが同じ布団と一緒に寝ることで肌のぬくもりを感じ、安心して再入眠できる姿を見ると『家庭と同じだなあ』とつくづく思います。

これからも肌のぬくもりが感じれるように接していきたいものです。

情短施設

鳥取こども学園希望館

自 律

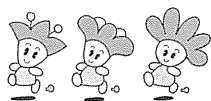
のぎくホーム Y・T (高三女子)

小六で学園の希望館に入って六年が経ちました。私は高三となり、卒業までと少し。それと共に、希望館に居られるのもあと少しだと思うと少し寂しい気持ちになりました。

希望館での生活を振り返ってみると、いろいろなことがあったと思います。楽しかったこともあれば、その分怒られた

り...ということもありました。特に高校生活は、自由がある分、責任もあり、本当にいろいろなことがあったと思います。

私は高校生になってから先生に「自律できるようになりなさい」とよく言われます。「自律」とは自分を律する事、つまり思いのままに行動するのではなく、先の事を考えてから行動する、ということです。私はいつも後先考えず行動して、いつも失敗し、怒られることが多いです。先のことを考えて行動する、という意識が足りないのだと思います。高校生になったばかりの頃を考えると、少しは進歩しているのかもしれませんが、それはほんの少しであり、まだまだ意識が全然足りていないと思います。なので、先生と話をした時、いつも最後に「自律」の話を必ずします。その時先生は、「自律の律は律することの律」と話します。私はその言葉を聞いて、確認し直します。そしてまた、いつもの生活に戻るのです。こうして振り返ってみると、私はまだまだ努力が足りないんだと思います。卒業するまであまり時間はないけど、意識して少しずつ少しずつ成長していきたい。「自律」している人になりたいと思っています。



希望館に来て

わかばホーム Y・M (中三男子)

僕は、希望館に来て初めてのことが沢山ありました。鳥取に来てから知ったとんど焼き、一回もしたことがなかったヨリ、凄く滑りにくかったスノーボード、三日間ずっと本校の人達と居た修学旅行、その時に乗った飛行機、その他にも沢山ありました。

希望館や分教室で学んだことで、この先自分の為になることはあまりないと思うところもあります。しかし、ここできてきたことは自分にとっては新鮮で良い経験になりました。また、久しぶりの弁論では恥ずかしいかと思いましたが発表しました。昨年度の三年生を送る会では、三年生を送る為にいろんな準備をしました。その時は少し大変でした。今年は送られる側なので変な感じです。今年は受験生で高校に行く為に沢山勉強をしたり、去年よりもテストが多いなど忙しく、頭がパンクしそうになります。

僕は、今年で希望館を出ますが、希望館で学んできた一年半ちょっとの出来事は、自分にとつての成長の第一歩です。残りは少ないですが、一歩でも前に進むことができるようにしていきたいです。



子ども家庭支援センター

希望館

相談機関の目

ソーシャルワーカー 岸田 有加

「はい、子ども家庭支援センター「希望館」です。」

物覚えの悪い私がやっと空でこのセリフが出来るようになりました。私があたたか受話器をとるとき相手側はどんな気持ちなのだろうか…。

あなたが相談員だったら何を思いますか。悩みは一人で抱えないで相談して欲しい。話をしたら楽になるのに。気軽に利用して欲しい…と私は思います。

では、あなたが相談者だったら何を思いますか。こんな悩みを相談していいのか。何をどう話したらいいのか。どんな人が聞いていて何を思うか。責められないしだいだろうか。何か解決するだろうか…と私は思います。

私がこのセリフを言えるようになるには何度も受話器をとりました。そのたび電話の向こうでは不安な気持ちいっぱいの方が受話器を握っています。私がセリフをおぼえたということはそれだけ皆さんの不安と出会ってきたということです。相談を受けることの重さを感じました。また、相談機関が絶対というわけでもありませんあくまでもその人の出会いの一つです。その一つで一〇〇%補うこ

とは難しいと思います。でもその人の力が六〇%だったなら、この機関と出会って二〇%補って、他の機関と出会って一〇%補って…と補い合って、その人の力(強さ)を生かして一〇〇%に近づけていきたいのではないだろうか？

そして過去のやり直しではなく、これからにつなげていけるよう本人の強さと周りの資源を共に確認していけたらと思います。

相談に至らない不安や悩みをもたれている方はたくさんいます。相談してくださる方はほとんど一部にすぎません。そのことも考えて一つ一つの出会いを大切にしていきたいです。

★来所相談 平日 九時～一八時

★電話相談 二四時間 三六五日

TEL (〇八五七) 二七四一五三

自立援助ホーム

鳥取フレンド

相談機関の目

寮長 山中 友子

現在鳥取フレンドでは、五人の子どもたちが生活をしています。

先日ちょっとしたことで、二人の子が取っ組み合いのケンカになってしまいました。止めに入った職員もとばかりを受け、不穏な空気が漂い、他の子たちも

引き気味で、明日からどんな状況になるだろうかと心配しました。

原因を考えると、どちらにも思いがあり、消化しきれないものをそれぞれ溜めていたのだらうと思います。一人ずつ話を聞くと、相手のどういふ態度に反感を持ち、どういふ言葉に苛立ったのか、きっかけになる出来事的前提にあったものが吹き出してきました。

狭いホームの中で、しかも、他人の集まりで、これまでに我慢していたものが伝わってきました。

仕事で疲れて帰ってきて、ホッとする時間を過ごして欲しいと思いますが、エネルギーの固まりのような寮生たちは、やはり、一時的に我慢しても、どこかで発散するものや、受け入れてもらっているという安心感が必要なのだろうと改めて感じます。

こちらからは、「それぞれ事情があつて、ここで生活しているのだから、皆が安心して生活できるようにしたい。中でのトラブルは避けたい。思うことは、私たちに話して欲しい。力の強い者が好き勝手することは許せない。話し合っていない。」と話しました。納得したかは、分かりませんが、意識して欲しいと伝えられています。

翌日から、また、仕事へ行き、平常に戻りました。それぞれが『生活の場』なので、互いにいがみ合い続けているのは辛いようで、それぞれが修正しようとしている近頃です。

保育所

鳥取みどり園

園長 入江 一枝

一人ひとりの子どもの好きな遊びはもちろんそれぞれに違いますが、秋が深まる頃になると、(この年の子どもたち)の大好きな遊び・絵本・歌・活動等がよく見えるようになってきます。年齢にしてみ組にしてもそこにいる子ども集団の性質と、そこにいる保育者の思いが混ざり合って春、夏を経て生まれ育ってきた、その年ならではの楽しさです。

何度繰り返しても飽きない面白さや感動は、子ども時代に大切なことではないでしょうか？また、それを共有できることは保育者としてあわせなことです。たづねたりと味わえるよう時と場を保障していきたいと思います。また、そこを入り口としての新しい発見や発展に共に心動かしていたいと思います。子どもの力を引き出しつつ、流れの中で、はづみをつけたり、方向づけを示したりすることも保育者の役割の一つではないかと思っています。今回、「保育所保育指針」の改定により、保育現場では目の前にいる幼な子どもの姿をしっかりとらえた上で、改めて保育内容等見直す作業を職員みんなで始めております。これからも、子どもたち一人一人が輝いて遊び、生活できるように保育環境を整えていきたいと思います。

*お部屋訪問

ばら組(異年齢児クラス)

「笑顔がいっぱい…二十七名の子どもたち…」

保育士 森本 千恵

秋も深まり、もうすぐそこまで冬の気配が近づいてきています。先日、子どもたちの個人製作で「みのむし」を作りました。かわいらしいみのむしが、二十七匹部屋を彩っています。ばら組、二十七名の元気いっぱい、個性豊かな子どもたちと楽しい毎日を過ごしています。

今日も聞こえてきました。『○○ちゃん、このゲーム一緒にしよう』『○○くん、カプラしよう!』と誘い合う子どもたちは、同年齢も異年齢も混ざり合い好きな遊びをしっかりと楽しんでいます。時には、ケンカになり、涙してしまつこともありますが、友だちとの関わりの中で、少しずつ思いやりの心や友だちをいたわる気持ちももてるよう、一緒に悩んだり、考えたりしているところです。

子どもたちの笑顔は何にも代え難い私の宝物です。そして世界一、私を癒してくれるものです。そんな笑顔の絶えないばら組の子どもたちと、これからも日々共に成長しあうて行ければと思います。



鳥取みどり園行事

- | | | | | |
|--------|-------------------------|---------|----------------------------------|----------|
| 6月8日 | 鳥取みどり園バザー | 9日 | 子育て支援センター「育児講座」 | 講師 北川民枝氏 |
| 10日 | 時の記念日(小谷時計店、高垣時計店見学) | 17日 | キッズサッカー教室 | かこ原敦子氏 |
| 15日 | 私立保育園保護者会連合行事(ソフトボール大会) | 19日 | 私立保育園保護者会連合行事(スタンプラリー) | |
| 21日 | 参観日(保育参観、講演) | 25日~26日 | 修立地区文化祭に描画出展(修立地区居住している3・4・5歳児)。 | |
| 6月26日 | 子育て支援センター「育児講座」 | 11月6日 | 鳥取市かがやき実践講座の公開保育を行う | (3歳以上児) |
| 7月7日 | 七夕まつり | 10日 | 焼きいも大会 | |
| 10日 | プール開き | 20日 | 感謝祭&さつま汁づくり | (3歳以上児) |
| 16~17日 | 個別懇談会 | 27日 | 6歳臼歯健康講座(5歳児) | 講師 今田哲哉氏 |
| 30日 | 卒園生のついで | | | |

8月2日 納涼祭

プール納め

9月7日 仕事会(保護者会主催)

12日 風紋館ディサービス「敬老の日のついで」に出演

(5歳児)

15日 修立地区敬老会に出演

(5歳児)

20日 運動会

10月3日 交通安全教室

(保護者会主催)

2日 園外保育：徒歩遠足

(3・4歳児：おおち谷公園 5歳児：久松公園二の丸登山)

9日 子育て支援センター

自立援助ホーム

倉吉スマイル

寮長 田村 崇

今年で四年目を迎えた倉吉スマイルですが、今年はいろいろと考えさせられる年だったと思います。特に“人間関係”についてです。寮で生活する子どもこ

どもの関係、職員と子どもの関係、職員同士の関係、子どもと親の関係、子どもの親と職員の関係、地域住民との関係、そして関係機関との関係。まだまだあります。挙げていけばきりがありませんが、私たち人間が生きていく上で誰かと接することを避けて通ることはできません。たとえ接してないにしても、見えていなくても、その関係の糸はいろいろなところに必ず繋がっているんだと思います。これまで私は、見えている関係の中だけで悩んだり喜んだりしてきたように思います。もちろんそれはとても大切なことだと思っています。しかしそれ以外のもつとあるだろ関係についてしっかりと目を向けなければいけないということに気がきました。とても抽象的ですがうまく説明できてないかもしれませんが、人は決してひとりで生きているわけではなく、持

ちつ持たれつ、支え支えられ、思い思われながら周りの人々の中で生きているのだと思います。直接接してなくてもそれぞれのの人に思いや苦悩や葛藤があります。わたしはそれらをもっと知っていかなければと感じました。もつと砕けて言えは、”やさしさ”と思いやり”をすべての関係性の中に自然に持てるようになりたいと思いました。

“自分をしっかり持って自分を大切に”する。勿論ここからです。それができて初めて相手に対して、”やさしさ”と思いやり”が持てるのだと思います。

わたしは日々子どもたちと生活する中で、決して強要したりせずにそういったことを子どもたちに感じ取ってもらえるような、縁あつて出会った一人の人間でありたいと思います。

とつとり若者サポートステーション

とつとり若者サポートステーションは働きたくても…自信がない、何から始めていいかわからないなど、求職活動に向かうまでの悩みを抱えている若者とその家族を対象とした相談機関です。

六月二日より、とつとり若者仕事ぶら



ざに併設してオープンし、毎月約三十名の方が利用されています。

おもな利用者の方は、キャリア相談もしくは心の相談を中心として、その人のペースに合わせ

せて、グループワークやジョブトレーニングへの参加をされています。また八月末から倉吉市にて出張相談を実施しており、まだ数は少ないものの、鳥取県中部の利用者もおられます。

現状はまだまだ未整備で課題も多いのですが、来年度はグループワーク・ジョブトレーニングの充実、鳥取県西部への出張相談の実施、地域に広く周知・浸透することなどを目指して、スタッフは日々検討(健闘?)しています。

とつとり若者サポートステーションは、一人ひとりの道のりを大切に、一人ひとりのペースに合わせたお手伝いをしています。

地域生活支援事業

ひだまり

児童養護施設などを退所した人たちが、里親の元を離れた人たちが社会的に自立

した生活ができるよう、さまざまな支援を行う相談事業です。主な事業内容を紹介します。

●退所者が気軽に立ち寄り、お茶を飲んだり、おしゃべりしたりできるスペースを作りました。AM 11時からPM 9時まで開いています。(火曜定休)

●入所施設と連携し、こども・OB・OG同士の交流を図ります。食事会や座談会を開き、意見交換や情報交換を活発にしていけます。

自立生活を営む上で生じる不安や、悩み、離職・転職や、職場での対人関係など、就業上の問題について相談に応じます。

●地域生活を始める上で必要な知識、社会常識を学ぶためのリーフレットを作成し、講習会・職場体験実習・職場訪問見学など、生活技能を身につけるための活動を行います。



当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

会費55口・寄付金161口 総額6,540,961円。

寄 付 者 (2008. 6. 1～11. 30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
G a m e 赤山善るり男子 秋崎靖通恵子 朝倉川通淑子 荒田目耕義二 新安西忠 五百川孟 異業種ビジネス21の会 生田百合子 石田耕太郎 石田晤玲 石田文三 石渡禎一 市谷経哉・成子 今里文子 井上康夫 井上裕子 伊吹啓一 入江一 岩田弘 植田望 宇都宮靖敏 内海敏 チキス・ゲット・チマリ・デシ 海老原光瑳子 奥羽徳行 大井宣雄 太田正志 大屋医院 岡垣七宝研究所 岡田栄 岡田レミ 岡山県児童養護施設協議会 沖野隆一 奥小椋孝昭 下石洋子 懸樋工務店懸樋義樹 加藤金属興業(株)鳥取事業所 金子りつ子 叶原土筆 上方面仁 河田欣微子 河田瑛子 川端勇次 菊池トシ	岸本修 岸本政枝 岸本律子 岸木下叔子 木村肇 蔵本美知子 グループ鳥白岡文江 こじか保育園 小島和奈 小谷寿子 小谷怜子 小橋房重子 駒井重忠 近藤明孝 齋藤明実 齊藤光トオル サカモト子 佐々木順枝 佐々木政江 貞光由紀敬 澤田孝義 澤田孝義 山陰酸素工業(株)鳥取支店 塩澤洋子 穴戸医院 柴田俊郎・直樹・和仁 柴田尚美 柴田満・妙 ジブラルタ生命保険株式会社 正林督章 城北地区同推協議会 白井道子 杉村英子 曾我紀厚 大雲院地藏盆子供夜店 ダイゲン眼科大源勝則 高槻知子 高橋昌文 竹下努 竹田義男・江海子 竹本薫子 竹本伸子 立川5丁目2区町内会 田中儀衛 田中工業(株) 田中耕自 田中民裕 谷尾裕	谷口尚子 谷口博文 谷口義明 谷本正道子 田村愛子 田村明子 つくし野法律事務所 土江浜代 常松佐代 戸田倫弘 鳥取いなばライオネスクラブ 鳥取おやこ劇場ひろしき市 鳥取教会・愛真幼稚園合同バザー 鳥取南更生保護女性会 鳥取国府更生保護女性会 坂手愛子 鳥取こども学園支援バザー 川口映子 鳥取少年鑑別所有志 鳥取白バラ乳販(株) 鳥取中央郵便局 鳥取医療器(株) 戸村誠 豊福孝明 中尾文裕子 中尾美智子 西尾美智子 西尾瑠璃子 西村照子 西村智得 二村繁美 野崎紳一郎 畑耕司 浜田久美 浜本五十鈴 濱本英機 林敬二郎 林義雄 原雅子 パルス電工(有) 判澤克郎 東邦子 久野芳治 平野正子 福島庸二 福永裕子・福永とみ子・柳川和子 富士一 藤本奎郎 星加忠孝	ホテルモナーク鳥取 前田崇明 巻田崇豊 又吉允子 松岡允京子 松原千恵子 松原菜津子 松本敦枝 丸谷菊子 丸山松子 三上晃 三木眼科 三木康二 みなみ歯科医 百村佐智 盛田和子 森田悟 森本志江 安田俊秀 安本良栄 山口公一 山田弘実 山田中捷二 山田本明廣 山田本大順 山田本高広 山田本智丈 湯谷眞人 吉田紀子 吉田由美 米谷健 若草学園職員一同 (株)岩田兼商店 (株)コタニ (株)さんれいフーズ鳥取 大谷和雄 (株)清水 清水昭允 (株)千代エンジニアリング (株)高田商店 高田康央 (株)テクノ工業 (株)中井 脩 (株)錦工務店 (有)イナバ葬祭センター (有)因幡安田ひまわり保険 (有)岸田ガラス店

物 品 寄 付 者 (2008.6.1～11.30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
愛真幼稚園・鳥取教会 石 原 玲 子 いなば幼稚園 井 上 恭 子 今井書店倉吉支店 植 島 奈 緒 美 エフティ資生堂 大 浦 ひ と み 海 藤 ひ ろ み 株式会社サカモト	小 林 道 郎 サマーハウス 松 山 ジブラルタ生命 セイコーエプソン労働組合 大 樹 寺 高 田 健 一 谷 口 昭 鳥取工業ミシン商会 松山義博 鳥取更生保護女性会	中 村 浩 二 ぱ に ー に ビジネスホテルやよい館 浩 の 会 玉 川 平 浩 フィリップモリスジャパン(株) 丸 登 美 夫 丸 山 順 子 みなみ薬局 中 山 山 根 一 昭 山 本 市 吉	山 本 高 広 ライオネスクラブ (株) ヤ マ ネ 機 材 大 田 き よ 系 竹 内 宙 宙 坂 本 享 氏 無 名 氏

イベント招待 (2007.5.1～11.30)

(敬称略)

月日	氏 名	内 容	月日	氏 名	内 容
5/28	成 道 の 会 と っ と り	ヴァイオリンリサイタル招待	10/17	フィリップモリスジャパン	園 内 除 草 作 業
5/24～ 7/6	浩 の 会	ポップサーカス招待	10/24	(株) 三 栄	大相撲米子場所招待
7/29	劇 団 飛 行 船	マスクプレイミュージカル「ちほるちゃん」	11/5	国際ソロプチミスト鳥取	チャリティーコンサート招待
8/31	浩 の 会	地 曳 き 網 招 待	11/16	鳥取シンフォニックウインズ	定 期 演 奏 会 招 待
9/19	浩 の 会	新日本プロレス招待	11/17	(株)シンコーポレーション「メロンの会」	全国ラーメンキャラバン食事招待

ボランティア奉仕 (通年)

(敬称略)

氏 名	奉 仕 内 容	氏 名	奉 仕 内 容
日本キリスト教団鳥取教会	繕いもの奉仕 毎月1回	前田和子、山下孝子、小谷寿子	乳児部介護補助 週1～2回
鳥取南更生保護女性会	鳥取フレンド夕食作り 毎月1回	鳥取ライオネスクラブ	繕いもの奉仕 年2回
橋 本 敦 弘	理容奉仕 毎月1回	鳥取赤十字学生奉仕団	学習支援 週1回
牧 野 契 子	学習支援 週4回	山 田 太 郎	学習支援 週1回
上 野 備 子	学習支援 週2回		

● 後援会加入と寄付のお願い ●

- ① 建物を建てる時に自己負担金と借入金が必要です。2008年12月10日現在、乳児院等建設(2006年3,860万円借入、残高3,301万円)、自立援助ホーム棟(1996年2,000万円、残高800万円)、合計借入金残高4,101万円あります。更に今年度第2児童棟改築及び図書館学習室増改築で新たに3,200万円の借入と1,000万円の自己負担が必要であり、2009年度から毎年600万円の返済が必要となります。
 - ② 当園の場合、国の職員配置基準を大幅に上回る職員配置をしているため、毎年500万円以上人件費を後援会費寄付で補填しています。
- ①+②で毎年1,100万円は最低必要となります。世界的不況の中、後援会寄付のお願いは誠に心苦しいのですが、よろしくお願い申し上げます。

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。